



## 「頑張り 光り輝く姿を」

校長 門井 五雄

8月28日(水)より第2学期がスタートします。子どもたちは、夏休みをどのように過ごしていたでしょうか。家族や友達と、楽しい思い出や素敵な思い出がたくさんできたでしょうか。特に、夏休み中は、宿題や勉強・読書も頑張り、充実した夏休みを過ごすことができたと思います。

この夏休みの中で、特にうれしかったのは、夏休み中に大きな事故やケガなどの連絡がなく、2学期の始業式に元気な光り輝く笑顔で子どもたちが登校できたことです。保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

さて、2学期には、鷺の子まつり、遠足、社会科見学、持久走大会、6年生の修学旅行など、たくさんの学校行事があります。このような学校行事を楽しみにしている子どもたちも多いと思います。校長としても、子どもたちの「頑張る姿」を楽しみにしています。

第2学期始業式の式辞の中で、子どもたちに話したことは、毎日の勉強で、頭と体と心を鍛え、友達と仲良く協力することや「コミュニケーション能力」を学んでいること。学校行事を通して、「頑張る心」、「お互い助け合う心」、「協力し合う心」を身に付けてほしいと話しました。

また、子どもたちの中には、運動が得意な人もいれば、苦手な人もいます。2学期のいろいろな取組の中で、一人ではいやになったりしてできないけれど、友達と一緒に学びあいながらならできることが沢山あること。友達と一緒にだから頑張れることがあること。「一人はみんなのために・みんなは一人のために」という言葉もありますが、みんなで力を合わせて協力する中で、大きく成長してほしいと伝えました。

さらに、学校行事では、競争に負けてしまって悔しい思いをしたり「やらなければよかった」とか、「せっかく頑張ったのに無駄だった」と思うことがあるかもしれません。確かに勝ったり結果を出すことも大切ですが、結果に向かって「頑張った」ことが一番大切です。頑張ったことがすぐに結果として出なくても、必ず次につながっていきます。絶対に無駄にはなりません。皆さんの「頑張る姿」を、家の人も地域の人も楽しみにしていると話しました。

2学期も、子どもたちが、勉強や運動、学校行事に「全力で頑張り、笑顔で家に帰れる」よう、職員一同全力で取り組んで参ります。保護者・地域の皆様には何かとご協力いただくことがありますが、よろしく願いいたします。